

三股町の人口

10月1日現在

	前月より
男 6,949人	+ 15
女 7,870	+ 10
計 14,819	+ 25
世帯数 4,197戸	+ 12

# 三股みまた

No. 87

昭和46年

11月1日

発行 宮崎県北諸県郡  
三股町  
編集 人事企画課

一部定価10円



11 / 46

完備された自動車実習場で講義を受ける都城東高校生



心あわせて (婦人団技)



聖火・森木善一君 (三股中3年生)



小学生の継走



台風目 (40才以上団技)



はりきる恋櫻団

昭和四十六年度、町文化賞・一般功労賞表彰式が、庁舎落成記念祝賀式とあわせて、十月九日午前十一時から町体育館で行なわれました。

式場には約五百人が出席して、大河内町長の式辞、佐沢町議会議長のあいさつのもと、表彰が行なわれ、文化賞は前町議会議員、長友三郎氏ら三氏に、一般功労賞は行政・社会・教育・産業の四部門にわかれ、五十三人二団体に賞状と記念品が手渡されました。

なお、地区公民館にそれぞれ町旗の贈呈があり、このあと、式終了に引き続き、同祝賀会は山田郷公民館連協長のあいさつにはじまり、みんな心ゆくまでアトラクシ

ョンなど楽しみました。

翌十日、体育の日はいよいよ小雨でしたが、三股中グラウンドに町内の老若男女が集い、飛んだり、跳ねたり、中にはころぶ人もありましたが、芸能や体育を通じて、お互いの親睦と理解を深めました。

表彰者は次の通り(順不同)

【文化賞】長友三郎、上原平二、立山重寿

【一般功労賞】

行政部門 御橋光保、福元清市、重久哲夫、石坂敏二、久木山充、佐沢行成、岩崎満幸、長倉祐泰、玉利祐一、福永勝盛、兒玉芳範、川原宗八、飛松義二、久保利武、吉行休、清水邦雄、野崎久則

社会部門 楠原平二、新森田男、折宿儀太、荒武一男、黒木清之助、宮里清四郎、長尾イワ、小牧フジエ、屋敷善秀、東泰美、田中正綱、別府宗徳、前田秀二、米田美奈人、堂村宗記、中野光二、赤池善徳、榊山納骨堂組合(代表内村利男)、長田簡易水道組合(代表馬渡平男)

教育部門 隈元常規、中村重義、久松重利、藤原正春、横山正彦、花房正博

産業部門 上水肇、森木ムツ、崎田藤雄、白尾佑紀、大久保義春、松山喜熊、玉井馬佐夫、北野実清、兒玉篤二、上石重二、永吉勘熊、今村純利、小牧静雄

# カメラルポ



## 功労賞 盛大に表彰式典 行なわる

### 庁舎落成記念

祝賀式・町民体育大会



大会開始のファンファーレも高らかに (三股中プラスバンド)



庁舎落成祝賀会 (式辞をのべる大河内町長)



文化賞に輝いたひと  
写真(上)長友三郎氏  
(左上)立山 重寿氏  
(左)上原 平二氏



町民体育大

# 着々すすむ

## 災害復旧事業

ことしは六月の豪雨をはじめ、八月の十九号、二十三号台風によって、本町も大きな被害をうけました。

中には、家屋の倒壊によって負傷された方もあり、また、牛や豚が死んだ家もあり、被害を受けた方々には誠にお気の毒なことに痛感しているところであります。

本町において農地課が取り扱っている、農林省所管の災害状況についてお知らせするとともに、今年度災害発生に對し得た教訓を参考に、今後災害の発生した場合の処置などを述べてみたい。

### 過去十年間の災害復旧事業 (農林省所管)

年度	地区数	事業費
三六年度	九二六	九、九八四、四〇〇
三七年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
三八年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
三九年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四〇年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四一年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四二年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四三年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四四年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四五年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四六年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四七年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四八年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
四九年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
五〇年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇
五一年度	九一七	八、九七〇、〇〇〇

これに対し、四十六年度災害復旧事業として、申告を受けたものは、六月豪雨が七地区、十九号台風六十三地区、二十三号台風では七十三地区、合計百四十三地区、その事業費も一億円近くなっています。

### 災害復旧事業とは

災害とは、暴風、洪水、地すべり、地震、その他異常な天然現象によっておこる、人命の損傷、建物、作物などの損失、河川、道路、或は農地、農業用施設などの損害をいうが、しかし、その災害の発生の原因が、不明であったり、または人為的の損害であった場合は、災害として取り扱われないことになっている。

これらのうち、農地関係の災害に對する復旧業務は、農林省農地局建設部災害復旧課において担当され、町においては農地課において、その業務を担当しています。

「参考」災害復旧事業の定義

前述の異状なる天然現象によって、災害を蒙った農地、農業用施設などを原形に復旧することを目的とする工事であり、一カ所の工事が十万円以上となっている。

### 災害発生時の事務取扱

要点のみを述べましたが、更に今年度の大災害の発生による事務手続き上の問題と、今後災害発生の場合、皆さんにご協力をお願いしたい点を述べます。

### ※早急に適切な被害状況報告を

被害が発生したら、その災害(台風、大雨、地震等)が終った日から三日以内に、その場所・工種(農地、施設の区分)をおお

よその長さ、または高さ、大きさを实地に調査の上、確実な報告を役場農地課へ届けて下さい。

役場では、この報告届出によって現地を調査し、県へ報告(災害発生より七日以内)に報告、それ以後は失格となる)しなければなりませんので日夜頑張ってください。そして、現地測量、設計後、県へ報告、農林省、大蔵省の査定、認可、工事実施の仕くりとなっていきます。

以上、いろいろと述べましたが、要点は部落より如何に早く申告が出るかにありますので、今後の協力を強くお願いするものであります。――農地課――

## 里山再開発事業

### 林道開設に着手

本町では早くから道路舗装、整備事業には手掛け、ほとんど完備の域に達しております。現在、主要道路とともに里山林道の開発にも力を注いでおり、去る十月十八日板ヶ谷林道の開設に着手しました。既設林道一、一八〇メートルに未開地一、三五〇メ

ートルを延長し、山之口町野々宇都林道と結ぶことになっていきます。市員四、一メートル、工事費一、三〇〇万円、昭和四十七年三月末完成することになっていきます。今後は、奥地山林資源開発は勿論、管理道路としての役割を果たして行くこととしよう。

## 大坪教育長再任さる

九月三十日任期満了の大坪貞志教育長(五十九才)は、去る九月二十八日の町議会に再び教育長に選任したい旨の議案が提出され、満場一致をもって同意可決されました。

大坪教育長は昭和三十三年に本町教育委員会、社会教育課長に任命されて九年有餘、当時谷口教育長とともに全勢力を集中して職務を遂行、その誠実と努力と仕事に對する積極性は内外を問わず広く好評のあるところであります。

これら秀れた手腕をかわれて昭和四十二年十月一日教育長に就任、以来、躍進町勢をかかげる大河内町長の補佐役として、学校教育はもとより社会教育にたづな



▲再任された大坪教育長

ながら「社会教育」ともに、特に青少年の学力向上には関係機関と連携し、を保ちながら積極的に取り組んでいきたい。ひいては真理と平和を希求する教育を基本として、郷土ならびに国家社会の発展に貢献し得るのぞましい人間づくりに努めたい」と語っています。

役場前のバス停に立っていると、八十才近いご老人が降りて来られて、バスを待っておられた。これまた八十才近いご老人と話しをはじめられた。

「めずらしコッカ、ガシガ、ドキオジャイモシタカ。」

「山上下(殿)ガ、タオレタチ、聞キモシタ、モンジャツジ、ミメ(見舞)に行キ、ヨシタツ、グワスト。」

「ドゲン、アイモシタカ。」

「チット(少し)手ガ、カナツモサンナー。」

「ソスコ、パツカイ、ジャレバ、ヨカシタナー。」

「ホイデ、ガストオー」

「木之下下(殿)は、ドゲン、フ、ガストカイ」

「コノゴラ、ヨカチ、聞キ、モシタナ」

「ソラ、ユスガシタナ。」

## 三股町物語<その2>

### 三股小 得能哲夫先生

「ソスコ、パツカイ、ジャレバ、ヨカシタナー。」

「ホイデ、ガストオー」

「木之下下(殿)は、ドゲン、フ、ガストカイ」

「コノゴラ、ヨカチ、聞キ、モシタナ」

言のことはの調子は、上品である。どうしてだろう。

先日、鹿兒島に行った時、時間があつたので、駅の前で、かかっている、娘さんらしい人が、上品なご老人の手を引いてこられ、わたしの横にかけられた。そして鹿兒島の方言で話しをはじめられた。

わたしは、ご老人と娘さんらしい人の話しを耳にした時、はっとした。このことはの調子は、三股のバス停で聞いた、三股のご老人の話し方と同じである。

三股の歴史をしらべてみた。

三股は、伊東氏と島津氏(北郷氏)の獲得合戦あり、島津氏の領となるが、島津氏は、伊東氏になえて、常に指折りの武將を三股に配置している。

そのような関係で、島津の上流家庭のことはの調子が、三股に残っているのでは、ないだろうか。

三股は、昔から重要な土地であった。そして、いまも重要な土地である。

三股は、昔から重要な土地であった。そして、いまも重要な土地である。

三股は、昔から重要な土地であった。そして、いまも重要な土地である。

三股は、昔から重要な土地であった。そして、いまも重要な土地である。

三股は、昔から重要な土地であった。そして、いまも重要な土地である。



## 豊かな郷土の守り

# 住みよい社会をつくる

## 郵便貯金

郵便局の窓口をご利用下さいまして有難うございます。郵政省では毎年「住みよい社会をつくる郵便貯金の奨励」を行なっています。お蔭様で郵便貯金は年々、順調な増加を続け、現在高八兆円をこえる巨額となりました。一口に八巨円といってもほとんどこないかもしれませんが、一万円札を横にならべて約十四万キロ、国鉄全線路の約七倍になります。蓄積されたこの貯金は国の財政・投資の一環として運用され、各市町村、すなわち、わたしたちの町でも既に約二億円の融資を受け、住宅の建設、道路の舗装、学校の増設、橋の架設など、町の発展のために恩恵を受けている次第です。

郵便貯金が困つくり、町づくりには大きな役割を果たしていることを認識していただき、みなさんの、なお、一層のご協力を願います。

### ※郵便貯金の種類と内容

### ふるさとの野山に

#### キジ三十羽を放つ

町では、美しい郷土の自然を守るために、県の協力をえて去る九月六日キジを放しました。この日放鳥したのは三十羽。卵からかえして九十日間育てられたキジで、昭和四十四年度から休猟区に指定されている勝岡小学校前の湯の谷、池谷地区にそれぞれから五羽ずつ放鳥。キジは小さな雛から広い自然のふるさとの野山に勢いよく飛び立って行きました。年々、野鳥も少なくなりつつある現在、わたしたちの町をみんので野鳥の楽園郷土に育てましょ。



樺山六十一才グループ・原田

盃の酔いとともに話も飛躍してきたという。

樺山六十一才グループ・原田 國義さんはか十五名では、昭和二十三年から小学生時代の同窓が集って毎年同窓会を開いています。

グループは、昭和四十三年に建てられた樺山租廟殿・国旗掲揚塔(木柱)が、去る二十三日台風で倒れているのに気づき、先づ手はじめに国旗掲揚塔を贈ることを全員一致で決議。十月十日体育の日に鉄柱十三米の立派な塔を贈りました。

発足以来、欠かしたことがないというのがグループは、単に同窓会として焼酎をくみかわし世間ばなしに花を咲かせていたが、一同、六十才になったことに、何か郷土のために役立つ仕事をしたいと、かわす

戦時中、同窓がたくさん戦死したという年代だけに感激も先礼しを、きつと「みたま」や先祖もよろこんでくれるだろうと、願をはこぼしていました。

同窓会として焼酎をくみかわし世間ばなしに花を咲かせていたが、一同、六十才になったことに、何か郷土のために役立つ仕事をしたいと、かわす

国旗掲揚塔のご寄贈有難うございました。部落民にわかり「広報みまた」を通じて厚くお礼申し上げます。

第二地区公民館長・役員から

米国のドル防衛に端を発した一連の経済緊急措置に伴い、最近の国内経済状況はとみに不況ムードに推移し、わけても管内中小企業者には直接、或いは間接にその影響を受けつつあるのが実情であります。

国民金融公庫では、これらの処置として総計三五〇億円にのぼる特別融資を行ない、業者のかたがたに資金面の援助を積極的に行なうことになりました。

貸出条件については、詳細未決定ですが、現行の金利、貸出期間に比較して、大巾に緩和される見込みです。一、万圓連事業を営まれる方で、資金を要望される方

### 貸出条件 大巾に緩和

### 国民金融公庫

ドル防衛策に伴い

は、ご遠慮なくお申込み下さい。

一般年末資金  
十一月二十日締切り

ことしも早や四・三半期を迎え、当公庫では一般年末資金(運転及び設備資金)の貸出しを行なっています。

資金量及び処理面の都合から、申込書は十一月二十日までに提出して下さい。

市街地等整備資金の貸付け  
市街地等整備資金貸付(通称市街地貸付)を開始しました。

都市計画の施行など公共事業により移転、または増改築を必要とする場合、諸施設を含めて次の要領で設備資金を貸出することができるようになりました。

貸出限度 一、〇〇〇万円  
貸付期間 一〇年  
償還期間 二年  
貸付利率 年八、二%

### 泰平一家



### 11月の納税 固定資産税3期

詳細は、宮崎市橋通東三丁目六の三〇 国民金融公庫宮崎支店(電話二三三三二四・三三二七九番)へお問い合わせ下さい。

定期貯金 六か月間すえぬくだけで、あとはいつでも必要なときに払い戻しできます。半年複利です。長くお預けになる程、ローンと利率がよくなり、十年間は証書書き換えの必要はありません。十万円が、こんなによえます。

通常貯金(利率年三、六%)  
通常貯金は、出し入れ自由な貯金で、皆さんの財布がわり、金庫がわりにはご利用ください。この種の貯蓄で最も高利率です。

積立貯金  
積立貯金は、お宅やお勤め先に毎月集金に伺いますから、知らず知らずのうちに貯金が出来ます。

毎月十五日は郵便貯金の日です

一八三股郵便局V

### みんなで悪書をしめだそう

「悪書をしめだそう」追放し  
「……わたしたちの日常生活の中で、よく見聞する言葉ですが、まだまだ徹底していないのが現状のようです。子どもをもつ親として、わが子に限って……など、思いでしようが、もう一度たしかめる必要があるのではないのでしょうか。」

子どもの成長過程で、教育は学校、家庭でそれぞれに、最近、テレビや書籍、雑誌など、子どもに対する影響は特に大きく良きにつけ

悪きにつけ、知識の源となつてい中。中でも特に最近刊行される各種の書籍、雑誌類の中には、青少年の健全育成上好ましくないとと思われるものが余りにも多く、保護者はもちろん一般関係者の強い批判をうけているところでもあります。

町ではこれらを一掃するために、今「悪書追放」即ち「読まない」「見せない」「売らない」「三不運動」を実施しています。

保護者はもちろん、すべての市民のみなさんの理解と積極的な協力をお願いし、青少年の保護に努め、町内から悪書を追放しましょう。

預けた期間	受け取る金額	利率
一年	一、〇〇五円	六、〇%
二年	一、四〇五	六、四%
三年	一、九〇五	六、七%
四年	二、四〇五	六、八%
五年	二、九〇五	六、八%
十年	六、一〇〇	六、八%

# 初心と原点

三股町教育長 大坪 貞志

私には五人の孫がいる。教育長に再任されてその責任の重さをいろいろ考えあぐんでいるところ、四才になる孫たちが遊びにやってくる。その時、私の頭の中には、四年経過後の再任である責任の重さをひしひしと感じていた。

素人であり、どうなるかわからないといった第一回のときの気安さとちがって、こんどは何とかなければという自問自答がくり返えられていた。

「じいちゃん、かずえちゃんがあそびにきたよ」と、いつもの調子で四才になる孫がにぎやかに室に入って来たのであったが、「うん……」と、気の抜けたような返事をしたようだった。ところが「もう遊びにはこんよ」といった。「どうしてね」「じいちゃんは、あそんでくれるもん」と、いった。私はそのことを聞いてハッと。孫たちが帰ったあと、どうも気になって仕方がなかった。四年前

教育長再任にあたって、初心にかえってやりなおしたという考えの中に「原点にかえって」という決意では、初心を貫徹しようという決意は消えてしまつたのではないかと、ハッとしたのである。所詮、人は意志なしに事を成就することは不可能である。原点という倫理の世界にかえろうとすると、自分の意志以外のものにより、何かみつかるだろうという考え方の甘えが芽を出す。

孫たちと遊ぶときには、孫のよるこびが自分のよるこびに、孫のよるこびに、三股町の子どもたちや町全体が発展しつつあるとき、または停滯しつつあるとき、それが気持ちの中にピツタリとはまりこまなければならない。

## 成人者の誕生日検診

成人病による死亡は年々増加し、しかも成人病は壮年期にある人々に多発することから、社会的、経済的また家庭的にもきわめて重大な問題となっており、その予防対策の早急な確立が強く要請されています。

このような状況から、成人病に対する皆さんの関心を高めていただき、成人病予防の正しい知識と、積極的な健康管理を実践していただくために、成人者の誕生日検診を実施しています。

### ●検診日時

毎年一回、誕生日の月には、是非受診して予防や適切な治療に努めるようにして下さい。

### ●対象者

四十才から六十四才までの男女で、誕生日の月に受診

### ●検診項目

血圧測定、尿化学検査(糖、蛋白、ウロビリノーゲン)

### ●検診料

毎週水曜日・午前九時から十一時まで

### ●検診場所

都城保健所

### ●検診料

無料です

## 学園フラッシュ

若さと希望にあふれる

# 都城東高校



タイプ打つ手もリズムにのって (タイプ教室)



完備された自動車実習場・講義も熱がこもる



一流調理師めざして高度の知識と技術を養成 (調理実習室)



遠隔地からの登下校はスクールバスで

「北諸の野にひかり満ち、みどりなす野家の山、たぎるから強く正しく、自主自律ここに学ぶ……」都城東高等学校(野崎朝校長)は、役場から二キロ、すまきつた空気が緑に囲まれ、スモッグなどに悩まされる都会の学校とは対照的。県道・坂元線に沿い交通の便もよく、学生も若さと希望にあふれています。

(女子六〇名)の四科からなっており、なかでも、昭和四十五年に新設された自動車工業科は、最近自動車の急増に伴い高度な整備技術を要求されているこんにち、整備士および整備管理者となる基礎教育に、最高の施設を完備し、すぐれた技能指導陣をそろえて指導にあたっています。

去る十月二十三日、自動車第二実習場が完成。教材設備、施設を年ごとに拡充して県下随一、すでに中小工場以上の規模を持っています。

学ぶ者、教える人の呼吸がびつたりと合った人材養成の理想郷。常に新しい時代を旨として、純朴で麗しい、すぐれた若い産業人を育てるために、きょうもその指導に熱がこもっています。

昭和四十六年十一月一日発行

## 三股中学校

### くまそ面づくりに励む

—〈生産学級生〉—

三股中学校（堀之内吉文校長）の生産学級では、中馬純男、高橋幸一先生が中心となって学級教科の中で生産活動を取り上げ、くまそ面づくりに励んでいます。

くまそ面づくりを始めて三年。デザインを工夫し、根気よく作りあげる喜びを与えるのが目的。手の器用な生徒たちは技術もぐんぐん向上し、父兄も子供が卒業したらきつと社会のために役立ちますと大喜びしています。

月産約百五十個、観光みやげ品として出荷され、市価より二～三割安いとあつて人気も上々、売り上げ金は次の原料代などにつかわれています。



▲ 愛刀を手にした福永さん

町民の皆さんが、少しでもご利用いただければ……と、十数年の間、大切に保存されていたという「国訳大蔵経・二十六巻」の図書を、このほど町立図書館に寄贈がありました。

寄贈されたのは、夢池・福永勝盛さんの長男、勝美さん（五十才）で、旧制都中を卒業後、松本高校、熊本大学医学部を卒業、同校助教を経て、現在、医学博士、朝霞基地診療所長として活躍しておられます。

毎日、多忙の日々ながら文学的手腕は定評があり、著書も多く、医学書をはじめ、仏教、刀剣などの書を数多く発刊されています。

ことに、刀剣類については、現在、雑誌「刀剣と歴史」の編集者でもあり、刀剣鑑定会幹事としても広く知られています。

現住所・東京都練馬区東大泉町八三九、大泉マンション 三  
図書のご寄贈有難うございました。

町立図書館へ寄贈

国訳大蔵経 二十六巻

福永勝美さん——